

東郷町における有機農業産地づくりの取組

1 対象

有機農業推進協議会、有機農業実践者 18 戸、農業者

2 背景

東郷町内の農家経営体数は 191 経営体（2020 年農林業センサスによる）、経営耕地面積は 336 ha（うち田耕地面積 238 ha、畑耕地面積 98 ha 令和 4 年面積調査による）であるが、遊休農地が約 22ha（町調べ）あり、町としてはこれらの解消を目指すとともに、新たな担い手の育成・定着に向けた施策を実施している。

また、町は有機農業の推進に積極的であり、国事業を活用して町内での有機農業産地づくりを目指している。

そこで、本年度は、新規就農者の就農後のフォロー体制を関係者・機関で確認し、新たな担い手の育成・定着が円滑に進むよう支援を実施する。

また、水稲作においても重点的に学校給食での活用を中心に生産振興に力を入れており、その計画実践に向けた支援を実施する。



図 指導対象新規就農者の生産物(カボチャ)及びほ場(露地夏秋ナス)の様子

3 活動の内容

(1)「地域サポート計画」に準じた就農後フォロー体制の構築

就農後のフォロー体制について関係者と打ち合わせを行い、目標達成のためにそれぞれが行うべき事項を認識・共有し、「地域サポート計画」における役割分担を確認できた。それに基づき新規就農者 3 名について、重点的に支援を行うこととし、個別巡回により課題の共有と課題解決策の実施支援を行った。

(2)「有機農業産地づくり」の支援

土壌分析を行った 2 戸の水稲作農家に対し、有機栽培での施肥設計に準じて、計画的な作業や生産ができるよう土づくりの改善案を提示し、栽培の支援を行った。

施肥の効果を示して次年度作の参考となるように結果に基づいた有機質資材施用の提案を行った。

4 活動の成果

(1)「地域サポート計画」に準じた就農後フォロー体制の構築

関係各機関等の役割分担を明確にし、次年度以降も各役割に準じて新規就農者の育成・定着支援を実施する体制を確認できた。

(2)「有機農業産地づくり」の支援

有機質肥料の施用量を確認し、次年度作に向けた提案を行うことで、生産拡大に向けた支援を行うことができた。また、雑草対策など、栽培中の課題を明確にし、継続的に支援を行うことを確認した。